

身体を動かすことを生活の一部に ～人と人がつながる総合型地域スポーツクラブ～

特定非営利活動法人 エンジョイスports三島

(第2期 第1種助成 2016年、2017年)

話し手：竹之内美子さん(副理事長／クラブマネジャー)



クラブマネジャーの竹之内さん

●活動を始めたきっかけは何ですか。

私は体育大学の出身で、以前から運動に関わる仕事に携わり続けたい、という気持ちを持っていました。地域の小学校の体育館などでエアロビクスを教えていたこともあり、三島市で総合型地域スポーツクラブを作る際に、声をかけてもらいました。1年間かけて皆で話し合い、そして2年間のプレ実施を経て、平成21年2月に団体を設立、平成26年に法人化しました。

最初は、一輪車、エアロビクス、グローブ空手、柔道の4種目でしたが、現在は16種目に加え、日曜日以外すべての曜日で教室を開催しています。総合型地域スポーツクラブの中でも教室の種類は多い方ですね。

●参加者はどのような方々ですか。

教室の内容は競技志向のスポーツからレクリエーション志向のスポーツまで、幅広く楽しむことができ、とてもバラエティ豊かだと思います。また幼児から成人まで様々な年齢の方が楽しむことができるよう、工夫をしています。

日中の教室が中心ということもあり、男性より女性の方が多いです。平日の夜にフットサルの教室がありますが、男性が参加できる

教室をもっと増やしていきたいですね。

幼児体育では年中・年長を対象としていますが、親は教室の外で待ってもらい、同室にはしません。子ども達には挨拶やお片付けもお願いしますが、しっかりとしたものです。今は跳び箱を教えています、真面目に取り組むのであつという間に飛べるようになっていきます。

幅広い世代の人に、無理なく楽しんでもらうことが一番。エンジョイスports三島は団体名に“エンジョイ”があるように、笑顔で楽しく運動を続けることができるよう、地域に根付いた教室を展開しています。

今回は静岡県三島市にある南二日町クラブハウスで、地域に対する思いと共に活動についてお話を伺いました。



幼児体育教室の様子

●皆さん、継続されているのですか。

どの教室もリピーターの方が多いと思います。また口コミで参加する方がほとんどで、これは私達にとっても嬉しいことです。一方で地域には私達のことを知らない人がまだまだ多くいらっしゃるの、広報の必要性を感じています。

まずは教室に来てもらえるよう、「初めの一步」を促す働きかけが大切ですね。無理なく出来る範囲で参加してね、と伝えるだけで随分違うようです。教室に来て、仲間と顔を合わせてスポーツをすれば、自然と会話が生まれ、どんどん楽しくなる。楽しければ、次の教室にも行



こう！と気持ちが前向きになります。特に高齢の方は外に出るのを億劫に感じるので、何か居場所を見つけると良いかもしれません。エンジョイスポーツ三島は運動もするので身体にとっても良い効果をもたらします。

そしてただ通うだけではなく、大会に出たり発表会に参加したり、と目標を見つけて頑張ることができるようサポートもしています。これは教室の特徴でもあります、やはり会員のモチベーションアップにつながっていると思います。

●指導者は地域の方なのです。

各教室の指導者は市内在住で、それぞれ資格をもった方々です。地域に住んでいる人が地域に住んでいる人のために、自分の得意なことを活かして指導を行っています。

例えば競技かるたは市内在住の永世名人に指導してもらっていますが、大人気の教室です。名人とは教室に来ていた方からの紹介で偶然にもご縁ができました。このように地域には特技や資格を持った方がまだまだたくさんいると思います。そのような方々に私達の活動を知ってもらおう、働きかけていきたいです。また今通っている子ども達が大きくなって、いずれ指導者として戻ってきてくれると嬉しいですね。

●スミセイの助成金は何に活用されましたか。

各年齢層に合ったスポーツ教室を、主に女性を中心として8種目8教室開催しました。そして彼女たちの意欲を高めるために大会やイベント、発表会への参加、施設訪問、資格取得などに取組み、多くの市民にも知ってもらう機会を得ることが出来ました。

助成金は主に指導者謝金に使用しました。おかげさまで良い指導者と出会い、活動を充実させることが出来ました。助成終了後は、活動を維持するために月会費を値上げしました。心配していたのですが、会員から反対の声は上がらず、かえって私たちの活動を応援する声をたくさん頂きました。地域の皆さんに支えられているんだな、と実感しています。



太極拳教室



女子フットサル教室

●今後はどのようなことに取り組みたいですか。

地域の指導者を見つけることと同時に、指導者の養成も必要だと考えています。指導者であっても総合型地域スポーツクラブを知らない人も多くいます。総合型地域スポーツクラブは地域コミュニティづくりも大切な目的となっています。私たちは運動だけではなく、地域に対する思いも伝えながら、指導者を養成していきたいと考えています。

そしてスポーツで身体を動かすことが特別なものではなく、生活の一部として多くの人が参加してもらえることが望みです。

<インタビューを終えて>

見学した幼児体育では年中・年長さんの子どもたちが元気よく身体を動かしていた。遊びを取り入れながら身体をほぐし、そして子どもの集中力を維持させているのはさすがである。私が見てもこんな高い跳び箱を飛べるのかな、と心配だったが、どの子も5段の跳び箱に果敢にチャレンジしていて驚いた。「みんなで飛べるようになる」という目標が子どもの頑張る気持ちを育てているのだろう。

また竹之内さんからは「地域」という言葉が何度も出てきた。「地域の人が、地域のために」。この愛情こそが、まさに団体の原動力なのかもしれない。活動の拡がり人がつながりにもなるエンジョイスポーツ三島の活動を、もっと多くの人に知ってもらいたいと思う。

インタビュー・2019年7月8日(月)

於：南二日町クラブハウス

文責：市民社会創造ファンド 霜田美奈

—団体概要—

特定非営利活動法人エンジョイスポーツ三島
(静岡県三島市)

総合型地域スポーツクラブとして三島市の南二日町クラブハウスを中心に、多様な教室を展開している。

<https://mishima-life.jp/ensupo/>